

人形峠センターの課題について

- 第一回、第二回懇話会で頂いたご意見等について -

1. 人形峠センターの課題と対応方針について
2. 安全・安心への取り組みについて

参考資料

人形峠センターで想定されるリスクと対策
安全を担保する仕組みと事故対応体制
事故・事象への備えと透明性の確保

1. 人形峠センターの課題と対応方針について

ウラン廃棄物

核燃料サイクル施設の解体・保管

研究開発や設備の解体から発生した廃棄物を、安全に処理し、処分するための方法等の研究開発を行います。



プラットフォーム構想では、この研究開発から始めます。

研究開発に使用した施設や鉱山施設の跡地を自然な状態に戻すための研究開発を行います。

鉱山施設

鉱山施設の維持・管理

鉱山施設の跡措置に関する研究開発を行います。



環境保全

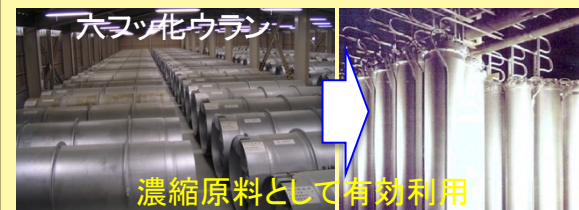


四季の花の写真

減損ウラン等

減損ウラン等の保管・管理

ウランを有効に利用する方策や酸化物等の化合物へ転換するための研究開発を行います。



逆転換に関連した研究開発

活用まで長期保管が予想される場合の措置

ウラン

資源として保管

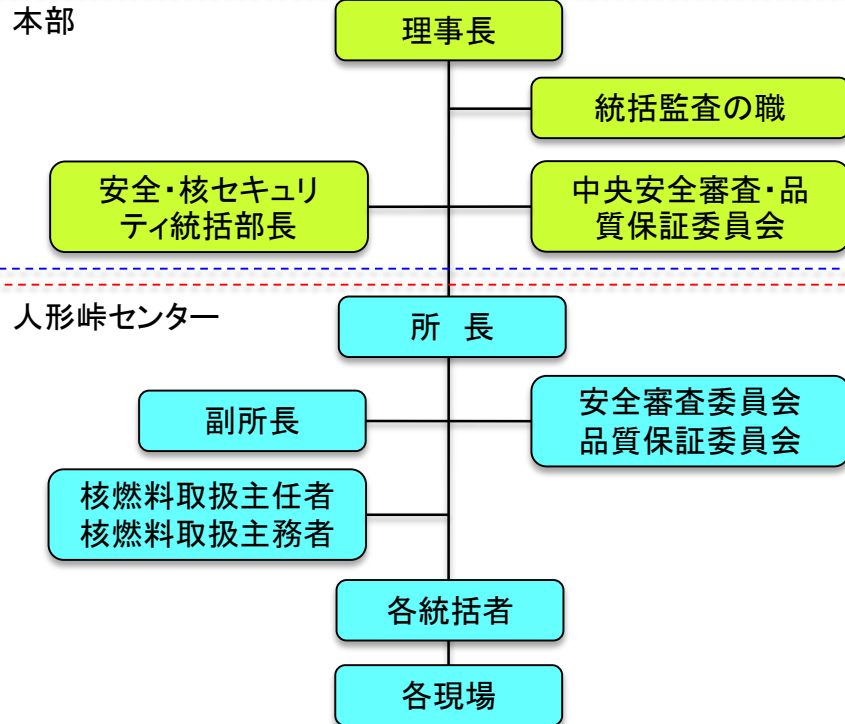
フッ素

資源として再利用

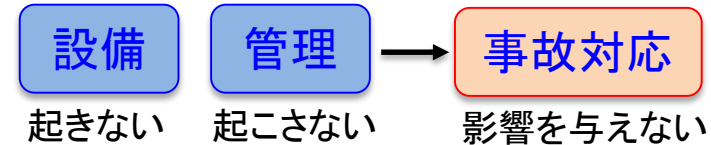
2. 安全・安心への取り組みについて

安全管理体制と事故・事象への備え

安全管理・対応組織



- ✓ 想定される事故・事象等に対しては、対応可能な設備となっており、環境に影響しないよう、原子炉等規制法や保安規定、鉱山保安法等で決められている管理を行っていきます。



- ✓ 一方で、想定を超える事故・事象への備えとして、規模想定や環境・周辺への影響評価方法、対応方法等について、必要性も含め検討します。



大量の六フッ化ウランが漏えいする恐れ



鉱さいたい積場が決壊する恐れ

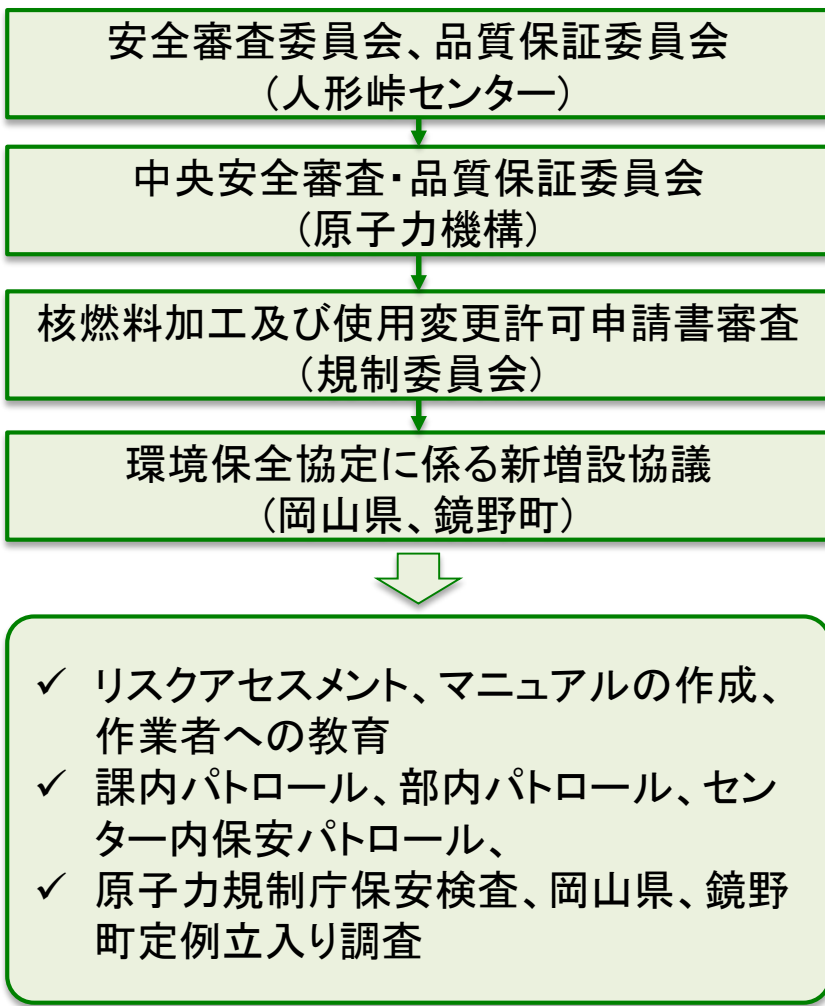
人形峠環境技術センターでは、地域の皆さまの安全・安心の確保のため、今後も安全対策について不断の努力を重ねて参ります。

参考資料1 人形峠センターで想定されるリスクと対策

	想定されるリスク	主な発生防止策
事故・トラブルの発生	・ 作業中の人身事故（死亡、負傷、被ばく等）の発生 ・ 解体作業並びに電気機器の老朽化による火災の発生 ・ 高経年化・老朽化による施設・設備の故障・損傷 ・ 自然災害（台風・大雨等）による施設・設備の故障・損傷	a) 新規作業前及び3 H（初めて、変化、久しぶり）作業前のリスクアセスメントの実施 b) 「3 GEN主義」の徹底（「現場」に出向いて「現物」に触れ「現実」を認識する。 c) 安全パトロールの徹底 d) 安全教育及び作業前の関係者による着実な手順確認の実施 e) 管理区域への可燃物の持込み低減及び防火対策の徹底 f) 高経年化電気機器の更新 g) 適切な予防保全対策、事後保全の実施 h) 適切な高経年化、老朽化及び耐震化対策実施 i) スケジュールの調整、管理 j) 不適合管理、トラブル情報の共有化及び水平展開の実施
予算・人員等経営リソースの削減	・ 経営リソース（資金、要員）不足により、施設の安全な維持管理ができなくなり、トラブルが続発する。 ・ 定年退職者の増加に伴う職員数の急激な減少、知識の継承が滞り、施設廃止措置事業の推進が困難となる。	a) 安全確保を第一義とした将来計画及び要員計画を考慮した組織体制の段階的な見直し b) 従業員の意識共有化、スキルアップ c) 経営リソースの確保 d) 嘱託職員、熟練技術者からの効果的な技術伝承

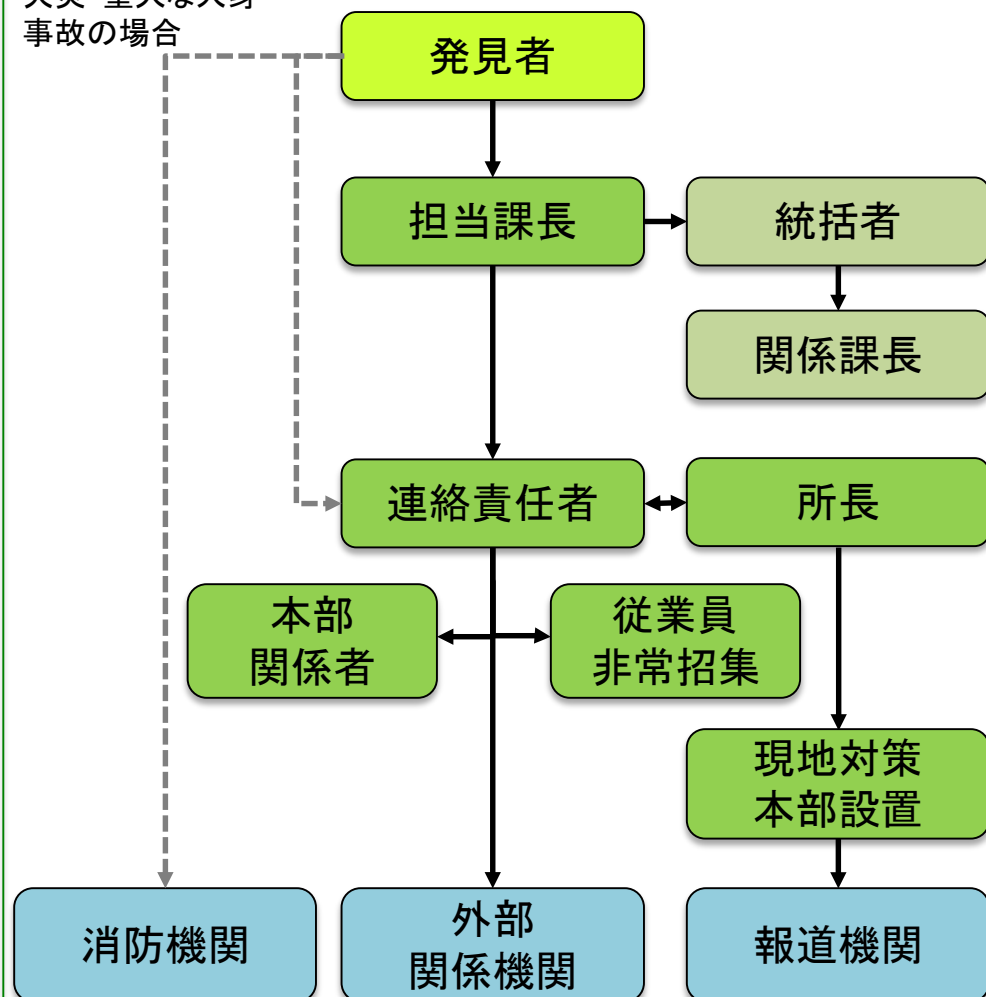
参考資料2 安全を担保する仕組みと事故対応体制

安全を担保するための仕組み



事故時の対応体制

火災・重大な人身
事故の場合



事故等に備え、定期的に訓練を行っています。

参考資料3 事故・事象への備えと透明性の確保

仮想事故・事象への備え

- ✓ 人形峠センターでは毎年、総合的な事故対策訓練を年2回実施しています。そのうち1回は岡山県原子力防災訓練を兼ねて、現実には起こり得ないと思われる仮想事故・事象についても対処する訓練を実施しています。

平成27年度の訓練の様子



現場指揮所の活動の様子



外壁の破損を想定した養生訓練



オフサイトセンターでの活動
(岡山県HPより)

研究開発の透明性に係る活動で出された、ご意見等も踏まえ、安全・安心への取り組みが形骸化することのないよう取り組んでいきます。

研究開発の透明性確保に係る活動

計画段階

専門家からの意見聴取
地域の皆様との懇話
シンポジウム等

研究開発段階

計画の公表
施設見学会
説明会
研究開発成果の積極的発信
・成果取りまとめ・発表・論文報告
・国内外の学会等での発表
・シンポジウム・国際会議開催